

平成 29 年度 水防訓練実施計画書

1. 目 的

本訓練は、出水時期を迎えるにあたり、水防体制の強化および水防技術の習得を図り、あわせて地域社会における水防の重要性の認識を高め、敦賀市における水防活動体制の充実を図ることを目的とする。

2. 主 催

敦賀市、敦賀美方消防組合

3. 実施日時

平成 29 年 6 月 3 日（土） 10 時 30 分から 12 時 00 分

4. 実施場所

敦賀市 古田刈地係 （笙の川右岸河川敷、古田刈公園内）

5. 訓練参加者

(1) 敦 賀 市	29 名
(市長、片山副市長、中山副市長、建設部長、道路河川課長、農林水産振興課長、住宅政策課長、危機管理対策課長、秘書広報課長)	
(2) 消防職員	35 名
(3) 消防団員	48 名 （内女性活動班 5 名）
(4) 福井県防災航空隊	5 名
(5) 敦賀市土木協会	10 名
(6) 敦賀市議	9 名
(7) 一般参加（栗野地区）	20 名
合 計	156 名

6. 訓練種目及び担当

第1部 水防工法訓練

- (1) 住宅浸水防止工法（内水氾濫対策）
（第1小隊）消防・市議・一般参加者
- (2) 掛矢、しの及び番線取扱訓練（せき板工法展示）
（第2小隊）消防・消防団員
- (3) ロープ結索及び土のう作成訓練（改良積み土のう工法展示）
（第3小隊）消防・市職員・女性活動班
- (4) 大型積み土のう工法（堤防崩壊防止対策）
（第4小隊）敦賀市土木協会

第2部 救助・救出訓練

- (7) 救助訓練・・・・・・・・消防救助隊（河川救助）
- (8) 防災ヘリ救出訓練・・・福井県防災航空隊（河川救出）

※訓練中はドローンを展示し、救助・救出訓練の飛行撮影を行う。

（危機管理対策課）

7. 想 定

「福井県地方に発達した低気圧が接近し、梅雨前線の活動が活発となり、嶺南地方を中心に昨夜より激しい雨が降り続き、福井県地方气象台は、午前9時に大雨、洪水警報、を発表し、各自治体などに注意を呼びかけました。

本市では、午前9時30分に『水防連絡会』を開催し、また、増水に伴い、午前10時に『水防本部』に切り替え、気象情報の収集や市内の状況把握などに警戒を行いました。

その後も、激しい雨は降り続き、笙の川の水位も増水し、笙の川の水位が氾濫注意水位1.7mを超えたため、水防第3配備体制を敷き、水防活動を行う。」

8. 訓練次第

(1)開始式	10時30分
① 整列	
② 水防活動の実施	10時40分
③ 救助救出訓練	11時15分
④ 終了式	11時30分
ア 水防管理者訓示	
イ 消防団長あいさつ	
ウ 来賓あいさつ	
エ 来賓紹介	
オ 講評（消防長）	
⑤ 解散	11時40分

9. 服 装（雨天時は雨衣着用）

- (1)消防職員…………活動服（紺色）、保安帽、ゴム長靴、軍手、
（必要に応じてライフジャケット）
- (2)消防団員…………活動服（紺色）、保安帽、ゴム長靴、軍手、
（必要に応じてライフジャケット）
- (3)市職員…………防災服、保安帽、ゴム長靴、軍手
- (4)土木協会員……作業服、保安帽、ゴム長靴、軍手
- (5)市議……………防災服、保安帽、ゴム長靴、軍手
- (6)一般参加…………作業しやすい服装、保安帽、ゴム長靴、軍手

10. 資材準備

訓練に使用する資材は、訓練日の朝までに会場に配置する。

11. 工法の指導者

消防団員の工法指導者として、敦賀美方消防組合職員が当たる。

12. 駐車場

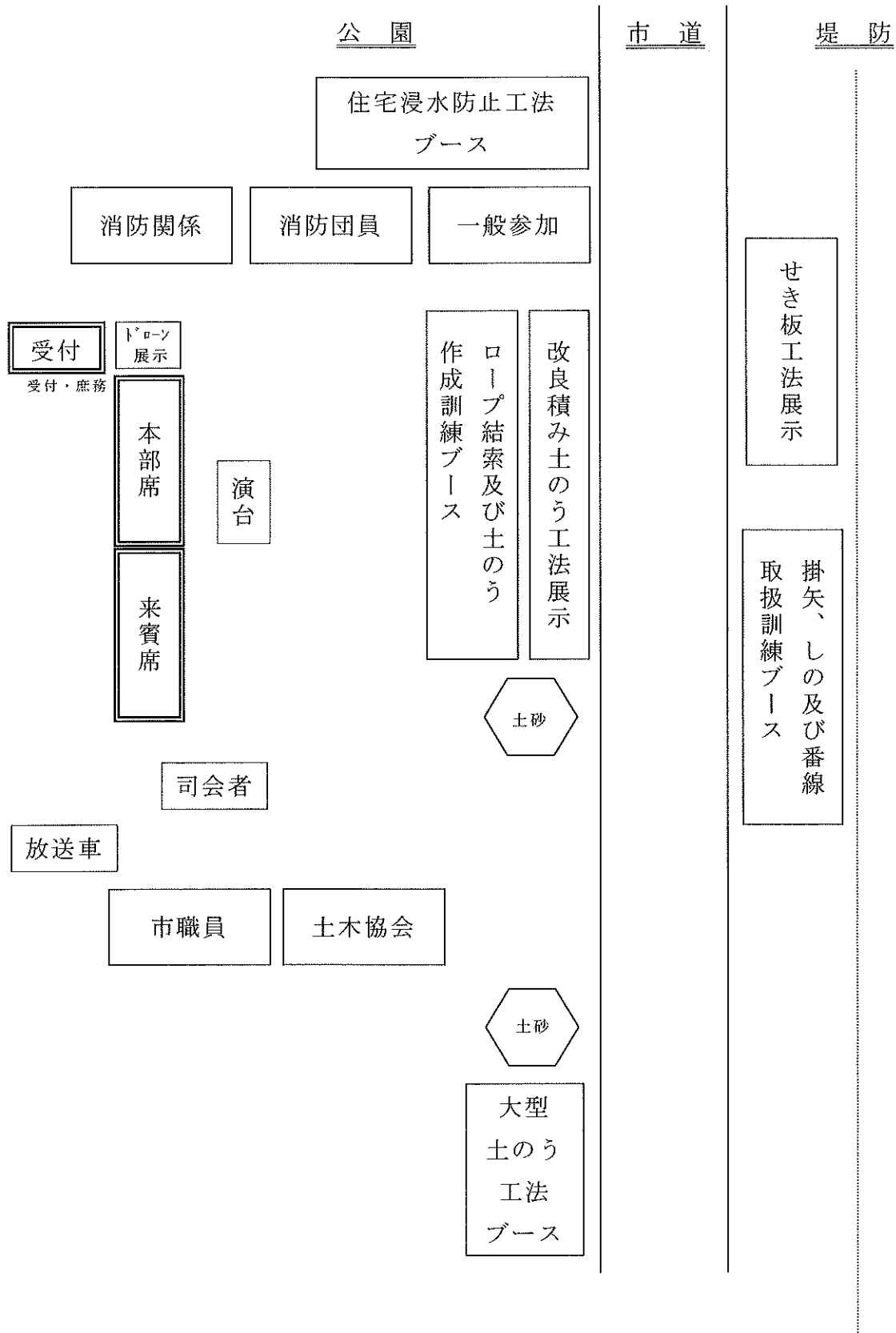
古田刈公園内を使用する。

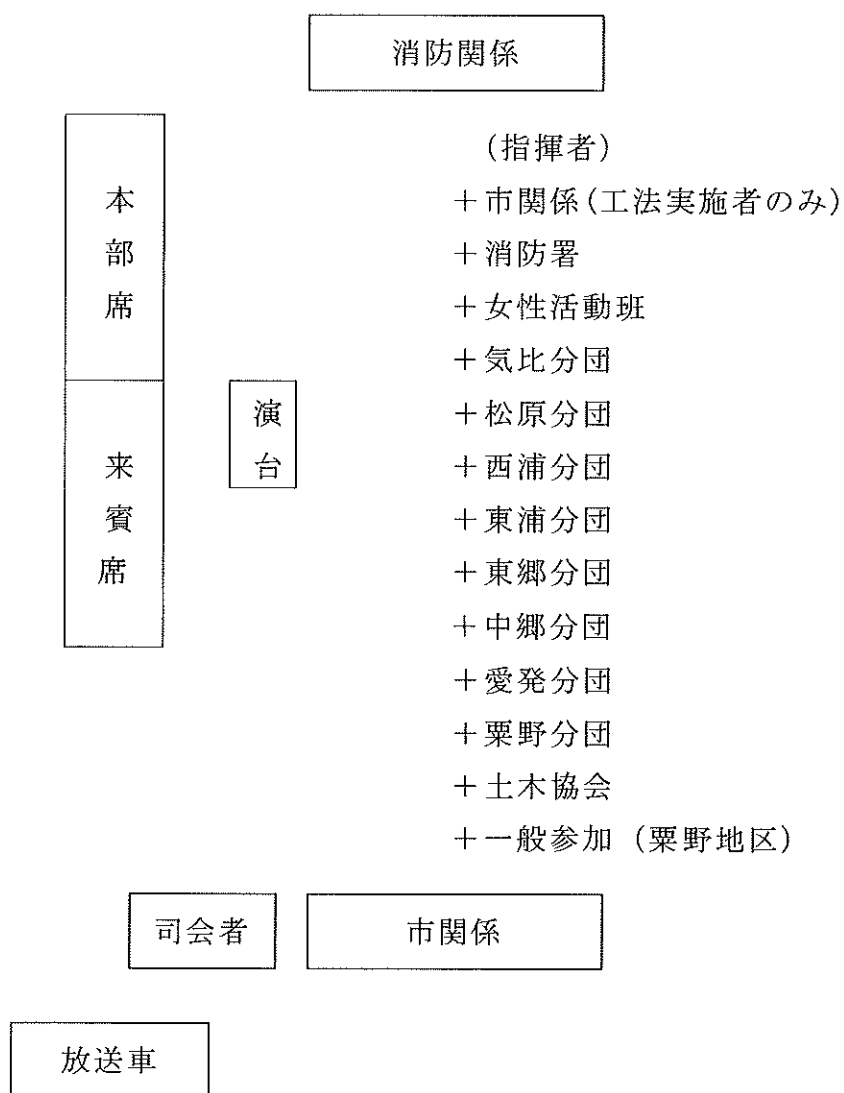
13. そ の 他

資機材の搬入及び搬出は、道路河川課において行う。

《訓練開始前待機》

別図－ 1





位置図

